

No.

2023 年度 理 科 年間学習計画表

山形県立長井高等学校

科目	教養生物	単位数	2	週時間数	4	年次・コース・組	3年一般理系
使用教科書 副教材等	自主教材 スクエア最新図説生物(第一学習社)						

① 学習の到達目標

既習の各分野に関して、さらに発展的な内容を多く取り扱うことにより、それぞれの分野のつながりや構成を理解するとともに、科学的に考察する力を養い、それらを積極的に応用し探究していく態度を育てる。

② 評価の観点、方法

原則として、定期テスト80点、平常点20点 の100点法で評価する。
定期テストにおいては授業の学習内容の理解度を主に評価する。
定期試験前の課題などの提出では、おもに関心・意欲、判断力、表現力を評価する。
出席状況、授業への取り組み等により、関心・意欲・態度、また思考力・判断力も評価する。

基本的な用語と事象が理解されているか(発問・小テスト)
グラフや図を読み取り解析することができるか・計算問題を解くことができる(課題テスト・定期テスト)
基本的な実験の操作ができるか(実験レポート・机間巡視)

③ 担当者から

1年次の「生物基礎」、2年次・3年次前期の「生物」を履修したことを前提として学習する。
「生物基礎」の内容を土台に「生物」の内容をより深める学習を行う。
3年次前期までに学んだことを基に、様々な生物学の理論を系統だてて整理し総合的に探究していく応用力を身につける。
大学等で学ぶための基礎的な知識や生物学的な思考法を身につけるため、授業の復習や問題演習に十分時間をかける必要がある。

※ 前期反省

※ 年間反省

※ 次年度に向けて

④ 学習計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む）

月	単元名	教科書項目等	・主な学習活動(指導内容) ◎評価のポイント ○留意点	授業時数	
4				前期中間Ⅰまで	
				予定 0	
5				実施 0	
				前期中間Ⅱまで	
6				予定 0	
				実施 0	
7・8				前期期末まで	
				予定 0	
9				実施 0	
10		「生物の特徴」	基本的な問題演習を行う。	後期中間まで	
		「遺伝子とそのはたらき」	基本的な問題演習を行う。	予定 27 27	
11				実施 0	
12		「生物の体内環境」 「植生の多様性と分布」 「生態系とその保全」	基本的な問題演習を行う。	年度末	
					1
2・3				予定 19 46	
				実施 0	